

# 成果報告書

## 地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	特定非営利活動法人 掛川文化クラブ		
所在地	静岡県掛川市上西郷1703-1	設立年	2021年
運営主体	特定非営利活動法人 掛川文化クラブ		
事業目標	<p>①合唱・吹奏楽・弦楽等の基礎技術の習得をするとともに、仲間と共に音楽活動をする喜びを共有する。</p> <p>②各分野(合唱・弦楽・吹奏楽)の地域団体との音楽交流。</p> <p>③常時活動の成果発表会の開催。</p> <p>④掛川市教育委員会又は市文化課並びに市内小中学校との連携強化。</p> <p>⑤中学校文化部の地域移行へ向けた試み。</p>		
きっかけ	<p>・学校における芸術教育は、授業数が学習指導要領改訂のたびに減少し芸術教育そのものが脆弱なものになりつつあることから危機感を持ち、学校外における芸術教育の必要性を感じた事が最初のきっかけである。さらに、中学校部活動の地域移行が提言される中で、益々その必要性を実感したからでもある。</p>		
団体・組織等の連携	<p>・現在掛川市では、掛川市教育委員会・掛川市文化財団・掛川市文化・スポーツ振興課が少しずつではあるが、連携をしながら地域部活動について推進しようとしている。掛川市は、令和8年度からの完全移行へ向けて準備を進めており、特に、来年度からは吹奏楽の地域クラブ移行についての問題点を確認し、具体的な計画を進める予定である。掛川文化クラブとしては、保護者会の力を活用するような仕組みを考えている。</p>		
活動場所	<p>合唱～大日本報徳社記念館及び講堂</p> <p>弦楽～掛川市生涯学習センターギャラリー・リハーサル室</p> <p>吹奏楽～掛川市生涯学習センター第4会議室・掛川市立城東中学校音楽室等</p>		
活動概要	<p>①常時活動～各分野に分かれ、公立施設や学校を使って行う練習活動。</p> <p>合唱～毎週土曜日9:00～10:30 発声練習・ソロ練習・合唱曲練習等</p> <p>弦 楽～毎週水曜日19:00～20:30 楽器のチューニング・テキストにより個人課題練習・合奏練習</p> <p>吹奏楽～毎週土曜日13:30～15:30,隔週水曜日18:00～20:00</p> <p>楽器別練習・合奏基礎練習・合奏曲練習</p> <p>②成果発表会～日頃の練習成果を発表し、お互いの演奏を聴き合う会及び交流会(年2回実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の演奏団体(中学校又は高等学校の部活動)を招待して鑑賞会の開催及び交流会の実施</li> <li>・分野別講習会及びワークショップ</li> </ul> <p>③クラブ運営～アウトリーチ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中学校吹奏楽部へNPO指導者が訪問し技術指導をする。</li> <li>・地域の企業や団体、市の担当課、市教育委員会との調整、保護者会等への活動の情報発信や支援の依頼、大学や高等学校との連携など。</li> </ul>		

## ○本事業による成果

### ①常時活動

- ・各分野の地域指導者の熱心な指導や招聘した講師による指導により、児童生徒の技術の向上が顕著であった。
- ・練習活動や講習会をする中で、児童生徒が様々な人との交流できたことで、自らの取組み方等を振り返ると共に、練習に対する姿勢にも変化があった。

### ②成果発表会

- ・舞台での発表を通して、様々な方々に聴いていただくという音楽の表現活動を目標に置くことで、次第に練習への集中力や技術向上につながった。
- ・吹奏楽・弦楽・合唱3分野と一緒に音楽を共有できたことや、指導者の交流が深まった。
- ・中学生や高校生との交流を持つことで小学生が中心であった活動に、次第に中学生が参加するようになり、部活動の地域移行についての保護者の関心が高まった。

### ③クラブ運営

- ・事業推進検討委員会を開催することで、掛川市担当課・市教育委員会・市文化財団との間で、情報共有と課題が明確になった。
- ・現在は、吹奏楽・合唱・弦楽の分野での活動であるが、運営をする中で、この学校部活動の地域移行は、例えば、掛川市文化協会や地元の文化振興団体等と連携をとることで、文芸・演劇・写真等の分野においても児童生徒の可能性を芸術文化を広げられるチャンスでもあることを感じられる機会もなった。

### ④市内中学校への訪問指導

- ・NPOに所属する役員(市の指導員を兼ねる)が、該当中学校へ週火木金土と放課後及び土曜日午前指導にあたる。放課後は1時間程度、土曜日は3時間を指導する。教員については、放課後指導は指導員に任せている。この役員が中心となり、掛川市内の中学校吹奏楽部への訪問指導を行った。丁度コンクールの時期という事もあり、パートごとの指導や合奏指導などを実施することができた。今年度は1校のみであったが、次年度より好評なこともあり、引き続き実施する予定である。

## ○運営上の工夫

### ①児童生徒の生活指導について

- 技術指導はもちろんのことであるが、活動をする上では生活指導も欠かせない。学習指導要領に示された部活動の意義について共有すると共生徒の自主的な活動を重視する指導を心掛けている。

### ②技術指導について

- 音楽を楽しむ上では、楽譜を読んだり、楽器を上手に吹けたりすることは、楽しさにもつながり、自主的な活動につながっていくため、外部より指導者を招聘して、クラブ指導者の工夫につながるようになっている。最近では、技術のレベルに合わせてグループ分けする等の工夫もしている。

### ③運営経費について理解をしていただくため、保護者会を立ち上げ、保護者の協力により、クラブサポーターを市民から募集する活動を始める。

### ④指導者不足は大きな課題であり、地元大学生の理解と協力を得られている。特に、他地域の調査も行う等本クラブ活動の参考となっている。指導者については高校生のボランティア活動に位置づけできないかを模索している。

### ⑤楽器の調達・運搬・保管について

- 楽器についてはすべて貸出である。市内の小学校・中学校の楽器調査を実施し、使用できそうな楽器を修理、地域の団体より譲り受けるなどして、管楽器・弦楽器を用意した。保管庫はない。現在検討中である。したがって、生徒が自ら運搬をするが、大型楽器については担当役員が毎練習日に自家用車にて運搬をしている。

### ⑥学校の校舎利用

- 指導員(NPO役員)が学校の別棟の練習会場のカギを管理し、開閉を行う。

### ⑦資金の調達方法

- 今年度は、ヤマハミュージックジャパンと共催にて、講習会を2回実施した。おおよそ経費の50パーセントをヤマハが負担した。

また、企業の賛助会員を募集しているがまだ数社に留まっている。今後は、市民にサポーター制度を導入して市民が子供たちの文化活動を支えるような工夫を考えている。

### ① 指導者の確保

特に多くの人数を抱える吹奏楽分野は、指導者の確保が急務である。これは、水曜日の夜(掛川市では部活動がない日)、土曜日の午後の活動においても同様で、さらに活動を日常の放課後となると人材をはたとも足りない。しかもボランティアとなればほぼ人材確保は不可能である。また、楽器の専門性も必要とされ、地域の指導者だけでは担えない所もあり、月1回でも各パートを指導できる講師が必要である。合唱分野でもピアニストは必要であり、現在のようなすべて指導者が行うには無理があるしたがって、それが可能となる人材確保の仕組みを考えなければならない。

### ② 運営費の確保

現在は、会員1000円 月を徴収して活動をしている。しかし、会場費や楽器のメンテナンス、講師料など運営をする上で必要経費が不足しこの金額では運営が困難になっている。おおよその見積もりでは、3000円 月は必要になる予測である。他、賛助会員は2社 のみで、現在は市民でサポートする体制が出来ないか模索中。

### ③ 活動場所の確保

掛川市では、令和8年度より部活動の地域完全移行を計画しており、そのためには学校活用が必須である。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

### ① 意識改革

私たち掛川文化クラブは設立して2年目となる。当初は小学生だけの活動となり、目指していた中学生の獲得には至らなかった。その要因として、当然ながら中学校で教員や生徒の地域移行に対する意識の薄さや戸惑いが大きく、敬遠される(学校によっては反発も)ような動きも正直あり、当初の目標とはかけ離れたスタートであった。しかし、2年目に入り小学生の学年も上がり、教育委員会等の働きかけもあり、保護者の意識の変化もあり、少しずつではあるが中学生が増えつつある。そういう意味では、しっかりと保護者、生徒に見通しを持たせる努力が必要で、地元の小学校への働きかけも大いに大切である。市教育委員会も部活動加入は必須でない事は以前から周知していることや、学校部活と地域部活動は同等である「公認地域クラブ」として活動できるため、今年度は、3月に集中的に小学生に対して体験会を実施する等する中で、徐々に中学生の意識も変わっていくものと思われる。

### ② ハードの整備

地域移行において課題になるのが、地域が広範囲になることである。これは、我々のような地域のクラブにとっては大きな問題で、結局は保護者が送迎するしか手立てはないため、大きな課題となる。したがって、金銭的にも、時間的にも、安全面でも活動するには学校を活用することがまずは大切であろうと思う。しかし、現在学校を外部の団体が使用することには、セキュリティ等の課題があり、中々前に進んで行っていないのが現状である。学校を地域のクラブが利用できる様に学校を整備することもやらなければならないことだと思う。

### ③ 運営経費の確保

我々のNPOの指導者は全員ボランティアである。しかし、継続をもとめるのであれば今までの部活動が教員の善意にすぎっていたように、それを今度は地域のクラブに求めるのも変な話である。人の善意にいつまでもすがって問題の解決にはならないので、教育的な意義が部活動にあるとするならば、自治体がそこは教育の保障として金銭的な手立てや仕組みを考えるべきである。

### ④ 指導者の確保及び教育

どこが主導でこの地域移行を展開するにしても、指導者や見守り的な人材も必要である。しかし、潜在的な指導者は存在するのであるが、実際指導者を確保するには大変苦勞しているのが現状である。また、実際に活動してみると、やはり生徒を見る目線が必要で、そこにはやはり教員の目線は絶対に必要であることは我々の活動の中でもはっきりといえることである。したがって、教員の指導者の指導しやすい環境をつくり、教員の指導力をどう活用するのも大きなポイントとなる。また、一般の指導者の教育も必要で、指導には技術ばかりでなく、生活指導も伴うからである。したがって、指導者の研修指導も大事な要素であるように思う。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	小学生33人 中学生6人 計39人
	学校名	掛川市内小学校掛川市立城東中学校、大須賀中学校、桜が丘中学校 栄川中学校、北中学校、常葉菊川中学校
	募集方法	①年度はじめに市内小学校・中学校へ募集チラシ配布 ②年間を通してホームページにて随時参加可能を告知
指導者	人数等	掛川市指導員2名、教員兼職兼業 1名、外部講師2名 教員経験者 2名、大学ボランティア3名、地元吹奏楽団員等
	募集方法	掛川市教育委員会を通して募集 本NPO役員からの紹介
参加者の移動手段		基本的に保護者に送迎をお願いする
活動費用	指導者謝金等	謝金 1,050円/回 吹奏楽講習会講師料 200,000円/2回開催
	その他	・楽器レンタル代 13,500円/月 ・常時活動練習会場費/15,700円/月 ・成果発表会会場費 80,000円/2回開催 ・吹奏楽講習会会場費 60,000円/回
活動財源	会費	年間10,000円(1,000円×10か月)
	その他	令和4年度は文化庁から業務委託を受け、活動財源とすることができた
スケジュール	基本活動	吹奏楽 毎週土曜日午後2時間/隔週水曜日2時間 弦楽 毎週水曜日夜 2時間 合唱 毎週土曜日午前 2時間
	年間	令和4年度 ・4月から3月常時練習活動 ・成果発表会 (第1回 10/2,第2回2/12) ・吹奏楽講習会(第1回10/30,第2回1/21) ・弦楽講習会 (12/21) ・合唱講習会 (2/5)
保険加入等		スポーツ安全保険 800円 (生徒39人+指導員28人)=53,960円

# 【活動の様子（写真添付）】

## 令和4年度 NPO法人掛川文化クラブ 活動の歩み



### 常時活動

合唱～大日本報徳社記念館及び講堂  
弦楽～掛川市生涯学習センターギャラリー  
吹奏楽～掛川市生涯学習センター及び城東中学校

説明会 令和4年5月1日（日）



### 体験会 合唱



### 弦楽



吹奏樂



常時活動



# 第1回吹奏楽講習会&交流会

## 吹奏楽講習会



## 弦楽講習会



## 第1回成果発表会



## 第2回吹奏楽講習会 & 交流会



## 第2回成果発表会

